

五條市市民会館及び五條市立中央公民館の耐震診断結果の公表について

五條市では、市民会館及び中央公民館について、建物の耐震性を確認するため、令和元年度に耐震診断を実施しました。その結果を下記及び別添のとおり公表します。

◆耐震診断の結果及び耐震診断の種類・指標等について

1 耐震診断の結果について

耐震診断結果については、「耐震診断結果一覧表」のとおりです。

2 耐震診断の種類・指標等について

(1) 耐震診断の種類

第2次診断: 個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法です。

(2) 構造区分

RC: 鉄筋コンクリート造

S: 鉄骨造

SRC: 鉄骨鉄筋コンクリート造

(3) 耐震診断の指標について

① Is値(構造耐震指標)

耐震診断の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される指標で、別添の「耐震診断結果一覧表」では各建物での最小値から最大値を表記しています。この値が大きいほど耐震性能が高くなります。

《Is値の目安》

Is値 0.3 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
Is値 0.3 以上 0.6 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
Is値 0.6 以上	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

* 市民会館及び中央公民館については、施設の用途及び建物の接する地盤の条件から、Is値 0.825 以上を目標値としています。(目標値 $0.825 = \text{耐震判定基本指標 } 0.6 \times \text{用途指標 } 1.25 \times \text{地盤指標 } 1.1$)

* 大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。

◆耐震診断の結果に対する対応について

市では、耐震診断の結果を受け、両施設に関する今後の対応方策等について、委員に専門家を含む「五條市公共施設の対応方策等検討委員会」を設置し、検討してまいりました。検討の結果は、令和2年11月24日、市長に答申されました。

今後この答申を踏まえ、市において両施設の具体的対応策について検討を重ねてまいります。